



ポッシュの充電サービス: 欧州全域の 15 万カ所以上の充電スポットを網羅

2020 年 6 月 15 日
PI10943 BBM Fi/Bär

- ▶ スペイン南部のアンダルシア地方から北極圏まで: 欧州全域に広がる最大規模の充電ネットワークを構築
- ▶ 包括的なパッケージ: 1 つのアプリで 15 万カ所以上の充電スポットを検索可能
- ▶ 拡大を続ける充電ネットワーク: 充電スポットは 2020 年末までに 20 万カ所まで拡大の見込み
- ▶ 位置情報サービスによってバッテリーの充電に付加価値をプラス

シュトゥットガルト(ドイツ)– 電気自動車のドライバーは、何よりも手間をかけずに充電することを望んでいます。つまり、空いている充電スポットをすばやく見つけ、認証やパスワードの入力なしですぐにアクセスでき、さらには充電料金も簡単に支払うことができ、充電にかかる時間を有効活用したい、ということです。ただ、現状は残念ながら異なります。電気自動車のドライバーの多くは、自分のスマートフォンに平均して 6 つの充電スポット検索アプリをダウンロードしており、最大 5 枚にも及ぶ充電認証カードの使い分けを余儀なくされています(出典: UScale、NewMotion)。また、充電スポットの利用料金が場所によって大きく異なることもあり、充電料金の価格設定の不透明感と、支払い方法が多数あることに、たいていの利用者は苛立ちを感じています。そこでポッシュは、充電の煩わしさを解消するという目標を掲げ、欧州全域で最大規模となる充電ネットワークの開発を進めています。本稿執筆時点では、ドライバーが自分のスマートフォンで、欧州 16 カ国における 15 万カ所以上の充電スポットを検索できるレベルに達しています。数回クリックするだけで、登録、充電から料金の支払いまで完了でき、価格設定の不透明さもありません。「私たちは、欧州全域で最大規模の充電ネットワークに自在につながるカギとなる充電サービスの開発を進めています。これが実現すれば、e モビリティはさらに利用しやすくなるでしょう」と、ロバート・ポッシュ GmbH のコネクテッド モビリティ ソリューションズ事業部長を務める Elmar Pritsch は述べています。ポッシュは、個人および法人向けに充電ソリューションを提供しており、ドライバーは位置情報サービスを通じて、充電にかかる時間をより有効に活用することができます。

アプリで充電スポットを検索

電気自動車を購入するにあたり、充電スポットがどれほど充実しているのかも、重要な要素とされています。独エネルギー・水道事業連合会(BDEW)は、ドイツ全域に公共および半公共の充電スポットが2万7,730カ所あると報告しています(2020年3月末現在)。この数字だけを見れば、十分な数のように感じられるかもしれませんが、約200社にのぼる充電プロバイダーや充電事業者の充電認証カードが特定の充電スポットでしか使えないこともよくあるだけでなく、契約条件やプラグ形式の相違、さらに充電スポットの評価なども関係してきます。欧州全域に広がるポッシュの充電ネットワークは15万カ所以上の充電スポットをカバーしており、ドライバーはメインとなるアプリからアクセスすることができます。ポッシュは各事業者と提携し、充電スポットをリンクさせるためにローミングなどの手法を活用してネットワークを構築しており、現在はドイツ国内だけで2万7,500カ所以上の充電スポットがネットワークに加わっています。これにより、電気自動車のドライバーは、ポッシュの専用アプリ「Charge My EV」や「Clever Laden」などの関連プロバイダーを通じて、近所や旅行先など、いつでもどこでも空いている充電スポットを探すことができます。また、ポッシュの充電ネットワークはさらに拡大しており、欧州全域をカバーする充電スポットの数は2020年末までに約20万カ所に達する見込みです。

充電にかかる手間を軽減

今年5月の段階で、ドイツ国内だけでも電動自動車の料金体系は288にのぼるとされています(出典: EuPD Research、2020年5月)。無限にも感じられるような数々の料金オプションはドライバーの混乱を招くため、充電プロバイダーの多くは定額制からkW時ベースでの料金に切り替えつつあります。ポッシュは、こうした料金体系を比較するという煩わしい作業をドライバーに代わって引き受け、各充電スポットでかかる料金の明細や、適用される契約条件の内容をドライバーに提供します。そのため、ドライバーは最終的な料金明細を、驚きと苛立ちを味わうことなく、受け取ることが可能になります。ポッシュはまた、充電認証カードの多様化に歯止めをかけたいと考えています。電気自動車のドライバーの約半数(45%)は2~4枚の充電認証カードを使用して充電スポットを利用しており、15%は5枚以上の充電認証カードを使用しているとされています(出典: NewMotion)。一方、ポッシュの充電サービスは、スマートフォンのアプリで1回認証を行うだけですぐに利用できるようになります。つまり、ドライバーはいつでもどこでも自分のタイミングで充電することができ、これまで使用したことのない充電スポットであっても初回登録を行う必要はありません。「充電は、どんな人でもシンプルかつスムーズにこなせるものでなくてはなりません。ポッシュのスマートな充電サービスは、eモビリティが広く受け入れられるための重要な要素になるでしょう」とPritschは述べています。さらに、ポッシュのソリューションでは、支払いも簡単に行えるようになります。支払いはアプリに事前登録したクレジットカードで行い、月々の充電料金の明細書が利用者に届きます。

充電にプラスアルファを提供

「将来的には、単に電気で充電するという枠を超え、充電プロセス全体を新たにパーソナライズ化することが重要になると考えています」と Pritsch が述べているように、ポッシュは「コンビニエンスチャージング」というかたちで、インフォテインメントシステムと電動パワートレインを連携させた、充電ソリューションと統合型ナビゲーションの開発を進めています。これが実現すれば、自動車メーカーや電気自動車を扱う事業者は、充電の煩わしさから解放された新たなユーザーエクスペリエンスを提供できるようになり、競争優位性を構築することも可能になります。また、このコンビニエンスチャージングによって、ドライバーと電気自動車は走行可能距離とバッテリーを充電できる場所を常に把握できるため、例えば最初に利用しようと考えていた充電スポットがすでに使われていた場合には、別の充電スポットを自動的に検索し、ナビゲーションシステムで案内できるようになります。推奨ルートと充電スポットについても、ドライバーの好みに合わせて、充電速度を優先するか、経済性を優先するかといったオプションで調整できるほか、レストランの近くにある充電スポットや無料 WiFi アクセスポイントのある充電スポットを検索するように、ナビゲーションシステムに指示を出すことができます。こうして、ドライバーはコンビニエンスチャージングによって充電中の時間をより有効に活用できるようになり、例えば充電スポットにおけるネット購入商品の受け取りや、隣接するレストランやショッピングモールでのクーポン券利用なども可能になります。さらに、機械学習によってナビゲーションシステムと充電ソリューションの改善が継続的に進められるため、提案内容や個々に合わせたサービスは充電のたびに改善され、充電はもはや面倒な作業ではなくなります。

シンプルチャージング - フリート EV や企業にも対応

ポッシュの電動自動車充電ソリューションは、自動車メーカー、フリートオペレーターやモビリティサービスプロバイダーが運用する充電スポット検索機能やアプリのバックグラウンドとしても機能しています。自動車メーカーやフリートオペレーターなどの事業者は、ホワイトレーベル型のソリューションを使用して、自社アプリへの充電ネットワークの統合や、車両のインフォテインメントシステムへの組み込みを行っています。ネットワークに含まれる情報は、自社で設置・運用する充電スポットで調整することができ、この充電スポットで従業員や顧客は車両の充電が可能です。ポッシュでは、充電スポット、パートナー管理や請求関連の統合を引き受け、必要な IT インフラを利用できるようにしています。

報道用画像: #1713206, #1713208, #2068017, #2068018, #2068019

報道関係対応窓口

Annett Fischer,

電話: +49 711 811-6286

Twitter: @Annett__Fischer

モビリティソリューションズは、ボッシュ・グループ最大の事業セクターです。2019年の売上高は468億ユーロで、総売上高の60%を占めています。モビリティソリューションズの売上により、ボッシュ・グループはリーディングサプライヤーの地位を確立しています。モビリティソリューションズ事業は、安全でサステナブルかつ魅力的なモビリティを目指し、パーソナライズ化、自動化、電動化、ネットワーク化の領域においてグループ全域にわたる知見を結集させ、お客様にモビリティのためのトータルソリューションを提供します。その事業領域は主に、内燃機関の燃料噴射テクノロジー／パワートレイン周辺機器、パワートレイン電動化のさまざまなソリューション、車載向け安全システム、ドライバーアシスタンスシステム／自動化機能、ユーザーフレンドリーなインフォテインメントや Vehicle-to-Vehicle (車車間) および Vehicle-to-Infrastructure (路車間) 通信、オートモーティブアフターマーケット向けのリペアショップコンセプト／テクノロジー／サービスなどです。さらにボッシュは、電気駆動マネジメントや横滑り防止装置 ESC (エレクトロニック スタビリティ コントロール)、ディーゼル用コモンレールシステムなどの自動車の重要な革新技術を生み出してきました。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2019年の従業員数は約40万人(2019年12月31日現在)、売上高は777億ユーロ(約9.5兆円*)を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー4.0さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュは、サステナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループは、AI(人工知能)を搭載する、もしくはAIが開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ボッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社440社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界126の拠点で約7万2,600人の従業員が研究開発に、約3万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

*2019年の為替平均レート、1ユーロ=122.0058円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)